

# Maximum filtration. Minimum noise.



● Blueair

Maximum filtration. Minimum noise

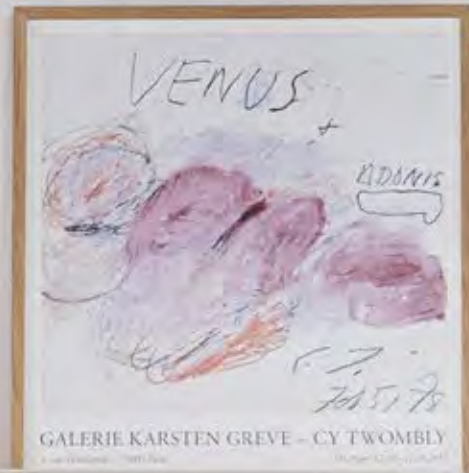


 **Blueair**

Maximum filtration. Minimum noise



ようこそ  
ブルーエアのある美しい暮らしへ











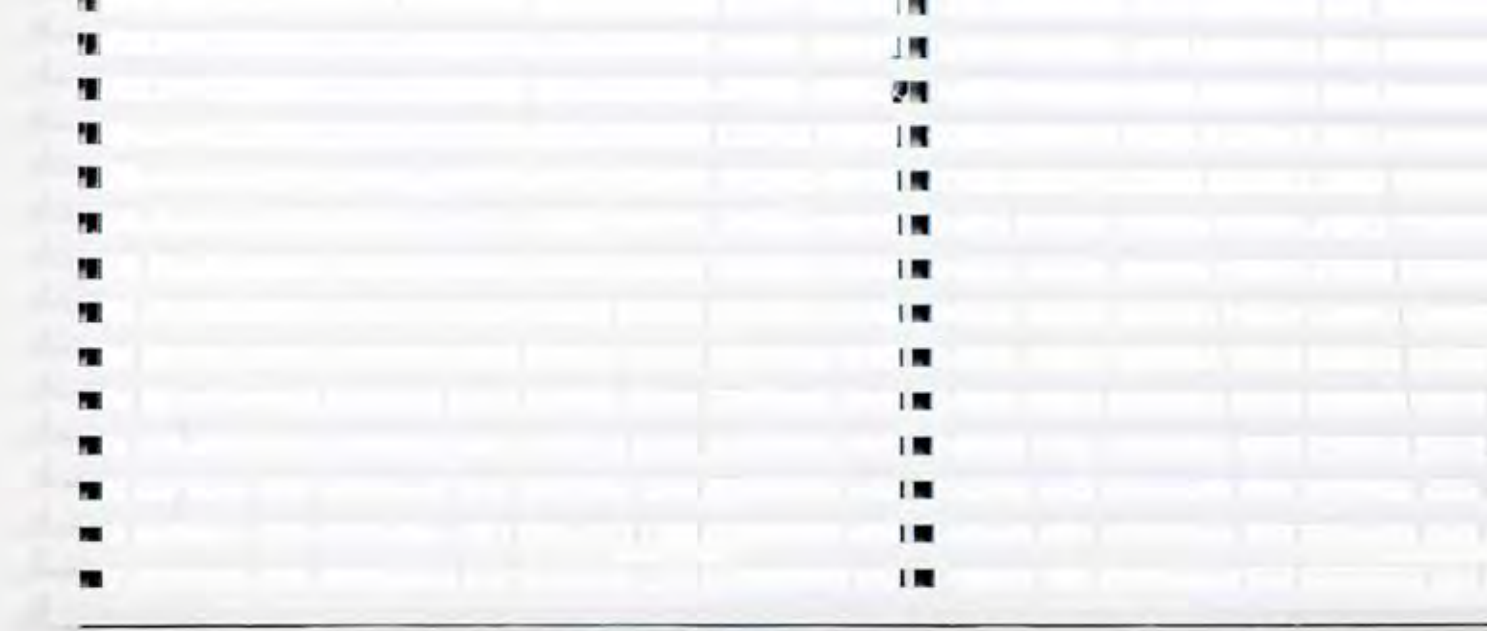




お気に入りのインテリアと  
調和するのもブルーエアならではの















## Index

### 04 Gallery

ようこそ、ブルーエアのある美しい暮らしへ

### 18 Message

きれいな空気の中で呼吸する自由を我々は守ります

### 20 History

四半世紀以上積み重ねてきたブルーエアの軌跡

### 22 Technology

創業以来ブレることのない、ブルーエアのコア技術

### 28 Design

優れたデザインは機能を表現する言語

### 32 Line up

世界中の誰にも優れた一台を用意すること

### 34 Products

ブルーエア製品の紹介

### 46 Clean air for children

世界中の子どもたちには、きれいな空気の中で生活する権利がある

### 56 Recommend

なぜブルーエアを推奨するのか

### 58 Case study

世界各国の「きれいな空気」にこだわる場所はブルーエアを選んでいる



世界中の人々がきれいな空気の中で  
呼吸する自由を守れるように  
我々は活動を続けます。

PM2.5や花粉、新しいウイルスによって引き起こされる空気環境の悪化により、生活者の空気に対する意識も大きく変わってきました。アレルギーを発症する方も年々増加傾向にあることから、空気清浄機市場は急速に拡大しています。

大気汚染は、私たちが今日直面している最大の脅威の1つです。Blueairは「世界中の人たちは誰もがきれいな空気の中で暮らす権利を持っている」という想いから、創業時から空気環境を改善するという明確な目的を一貫して持ち続け、この問題に取り組んできました。WHOは、2016年だけでも60万人の子どもが汚染された空気によって引き起こされた急性下気道感染症で死亡したと推定しています。私たちは国連に子どもがきれいな空気を呼吸できる権利を認めるよう呼びかけ、世界中の人々がきれいな空気の中で呼吸する自由を守っていくために全力を尽くしています。次世代を担う子どもたちの未来のために役立ちたい。そういった想いから、可能な限り省電力と低いノイズレベル、そして世界最高レベルのクリーンエア供給率を提供できる空気清浄機を開発し、提供してきました。

2016年からはユニリーバ傘下となり、私たちの意識も変わりました。同社は消費者の購買動機を調査・分析し、マーケティング戦略に反映することを得意としています。調査をこれまで

以上にしっかり行えるようになり、これまでの製品含め、ラインナップを見直し、開発できるようになりました。

生活スタイルや空気清浄機の置き場所など、生活者のニーズはさまざまです。創業時に発売した「Blueair Classic」シリーズはBlueair社の画期的な技術であるHEPASilent®テクノロジーを採用し、フィルターの効果を最大限に発揮しながら、最小の騒音が特徴で、寝室でも眠りを妨げることなく使うことができる人気モデルですが、生活シーンによっては別のタイプが求められます。より製品をよくするために何が必要なのか、継続的な対話を生活者で行いました。生活者の声を聞きながら既存の製品を改めて見直し、最新の技術を取り入れ、試行錯誤しながら完成した製品が「Blueair Protect」です。最高のパフォーマンスで空気を清浄し、静音性も高く、効率よく部屋中の気流を循環できます。デザインも美しく、本体は堅牢な金属製で、直感的に操作できるようになりました。特にコンパクトなサイズ感と高い性能は、日本の生活環境にも合っています。このように製品ラインナップの幅を広げることで、環境や好みにあった製品を見つけられるようにしていきたいと考えています。もちろん、新製品を開発するときも、低いノイズレベルで徹底的に空気をきれいにする空気清浄機を目指すことに変わりはありません。

現在は空気環境が悪化していることもあって、Blueairの製品が注目されていることを実感しています。世界をリードするクリーンエアソリューションの専門メーカーとして支持され、世界60カ国以上で販売されており、愛用者は予想を超えるスピードで増え続けています。多くの人々を救うことができること、特に成長期の子どもたちの脳や肺、体など健康的な成長のために貢献できることを誇りに思っています。しかし、まだまだ我々にできることはあるはずで、世界中の人々がきれいな空気の中で呼吸する自由を守っていくために、これからも活動を続けていきます。



Blueair CEO  
Henk in 't Hof  
(ヘンク・イン・ホフ)



**1996**  
スウェーデン・ストックホルムにてベント・リトリ氏が創業。HEPASilent®テクノロジーの特許を取得

**1997**  
ブルーエア初の空気清浄機「Blueair 40i」をリリース

**1998**  
エクセレント・スウェーデン・デザイン賞を受賞。スウェーデン国立美術館に展示

**2000**  
「Blueair 50i」がAHAM (米国家電製品協会)が定めるCADR (クリーンエア供給率)の最高値を獲得

**2004**  
米国の環境保護庁とエネルギー省によって定められた「ENERGY STAR」マークを取得

**2010**  
日本上陸を果たし「Blueair 650E」など3モデルをリリース

**2012**  
「Blueair Sense」が日本でグッドデザイン賞を獲得

**2013**  
中国のアメリカ大使館が全職員に数千台を導入

**2015**  
海外でWi-Fi対応モデルとエアモニター専用アプリをリリース (日本は2016年から)

**2016**  
創業20周年を迎えたこの年、新たに「Blue Pure」シリーズが登場。また、ユニリーバ傘下のブランドとして歩み始める

**2018**  
「Blue Pure 23i」を加えラインナップを拡充

**2019**  
初の車載用空気清浄機「Blueair Cabin」をリリース

**2020**  
Clean air for childrenの活動を積極展開  
「Blueair Protect」を発売し、創業以来はじめてフラッグシップを一新

**2021**  
創業25周年を迎える  
「Blueair Protect」「Blueair DustMagnet™」が世界的デザイン賞である「iF DESIGN AWARD」と「Red Dot Design Award」をW受賞

**2022**  
「Blueair DustMagnet™」を発売

## 四半世紀以上ブルーエアが追求してきたのは 地球上、誰もがきれいな空気の中で生活する権利を守ること

Blueairの創業は1996年。北欧スウェーデンで生まれました。創業者ベント・リトリの「誰でもきれいな空気の中で生活する権利がある」という想いのもと、空気清浄機に集中し、専門メーカーとしてスタート。創業以来、ウイルスや菌などのさまざまな空気リスクから暮らしを守るために長年研究してきました。その結果、Blueairは確かな空気清浄性能、省エネ性能、耐久性、ユーザビリティなどで、世界中から高く評価されています。

2000年には「きれいな空気の供給率」を測る世界基準CADR (クリーンエア供給率)において最高水準の評価を獲得。その4年後、米国の環境保護庁とエネルギー省によって定められた「ENERGY STAR」マークも取得しています。2010年に「Blueair 650E」で日本上陸、その後さまざまなモデルを発売。2020年には創業以降初めてフラッグシップを一新し、Blueair史上最も先進的な空気清浄機「Blueair Protect」を発売しました。この製品は、国際的に権威のある「Red Dot Design Award」「iF DESIGN AWARD」のプロダクトデザイン部門で受賞しています。

圧倒的な空気清浄性能はそのままに、近年はIoTなどの先進技術も積極的に採用しています。高い空気清浄機能とシンプルで使いやすい操作性、美しいデザインで知られるBlueair。世界中に愛用者を増やしています。



**ウイルス・菌**

0.03μm までのウイルスレベルの超微粒子を除去し、さらに本体内部やフィルターに吸着した菌を抑制します。

HEPASilent Ultra™

GermShield™

**悪臭・VOC など**

ペットやタバコ、生ゴミなどの生活臭はもちろん、建材や日用品から発生するVOCにも効果を発揮します。

カーボンフィルター

**花粉・PM2.5 など**

花粉やハウスダストなどのアレル物質、PM2.5、化学物質など0.1μm までの有害物質を除去します。

HEPASilent®

**繊維や毛など**

繊維クズや毛、綿ボコリなどの大きな汚れをキャッチ。メインフィルターを長持ちさせるのに役立ちます。

プレフィルター

## 創業以来ブレることのない ブルーエアのコアテクノロジー

今から25年前、Blueairが誕生した時に、コアテクノロジーである「HEPASilent®テクノロジー」は開発されました。

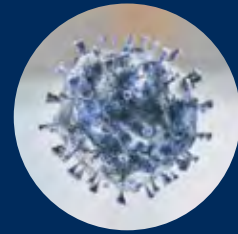
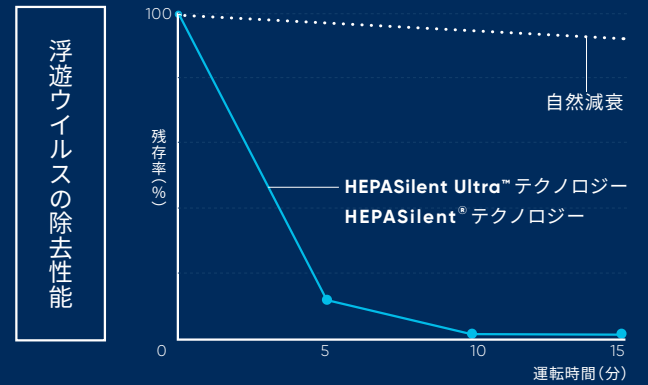
「HEPASilent®テクノロジー」は、パワフルなファンが空気中に漂う花粉、ハウスダスト、細菌などの汚れを吸引し、「イオナイザー」と呼ばれる電極でこれらの汚れをマイナスに帯電させ、分極させたフィルターに吸着させるという仕組みです。粒子帯電と機械式のフィルターを組み合わせたシンプルながら素晴らしい技術です。25年前に誕生した技術ですが、さらに進化して、より微細な粒子や微細な汚染物質に対応し、さらに静粛性とエネルギー効率を高めています。

さまざまな技術を進化させていくなかで、Blueairが大切にしていることは「いかに素早くきれいな空気を大量に届けるか」です。この清浄のスピードを示す指標として参考になるのが「CADR (クリーンエア供給率)」になります。

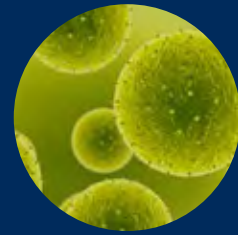
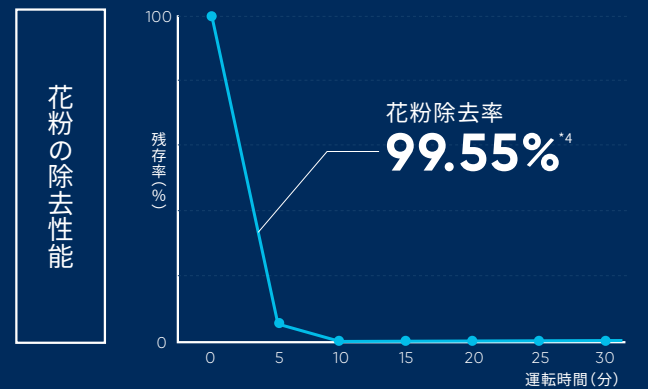
空気清浄機の性能を表す時に使う規格として、米国家電製品協会(AHAM)が制定したCADRという規格は、アメリカ、カナダ、中国、韓国など、数多くの国で評価基準として採用されており、事実上の「世界基準」です。CADRは値が大きいほど、空気清浄機が部屋の空気を浄化するスピードが速いことを示しています。CADRをできるだけ高く保ち、その上でノイズの低減、消費エネルギーの低減にも力を入れています。

実は空気中の汚れを除去すること、清浄スピードを上げることを両立させるのは難しいことです。というのも、より微細な粒子を除去するためにフィルターの目を細くすると通り抜ける空気の量が減りスピードが落ちてしまいます。しかし空気の量を増やすためにフィルターの目を粗くしてしまうと、今度は細かい粒子を取り除けません。この問題を解決したのが「HEPASilent®テクノロジー」なのです。

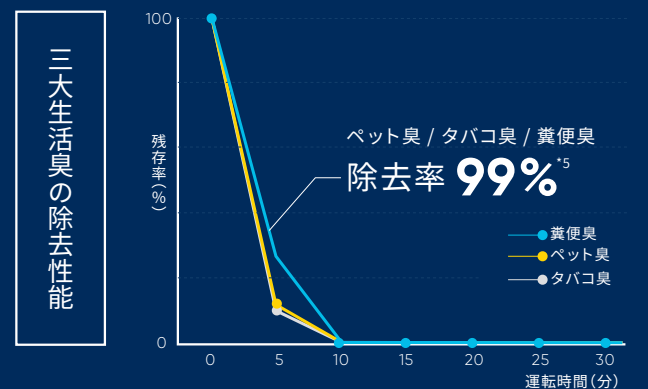




「HEPASilent Ultra™ テクノロジー / HEPASilent® テクノロジー」は空気中に浮遊するウイルスを素早く除去<sup>3)</sup>します。



家の中に侵入してしまった花粉はいかに素早く除去するかが重要です。ブルーエアなら10分で99.55%<sup>4)</sup>、より速く確実に花粉を除去することが可能です。



赤ちゃんのおむツ、ペットやタバコなど、ニオイの対策として最も大切なことは、染み付く前に除去すること。ブルーエアなら、気になるニオイをハイスピードで清浄することができます。(デュアルプロテクションフィルター搭載機種：Blueair 690i、490i、290i)

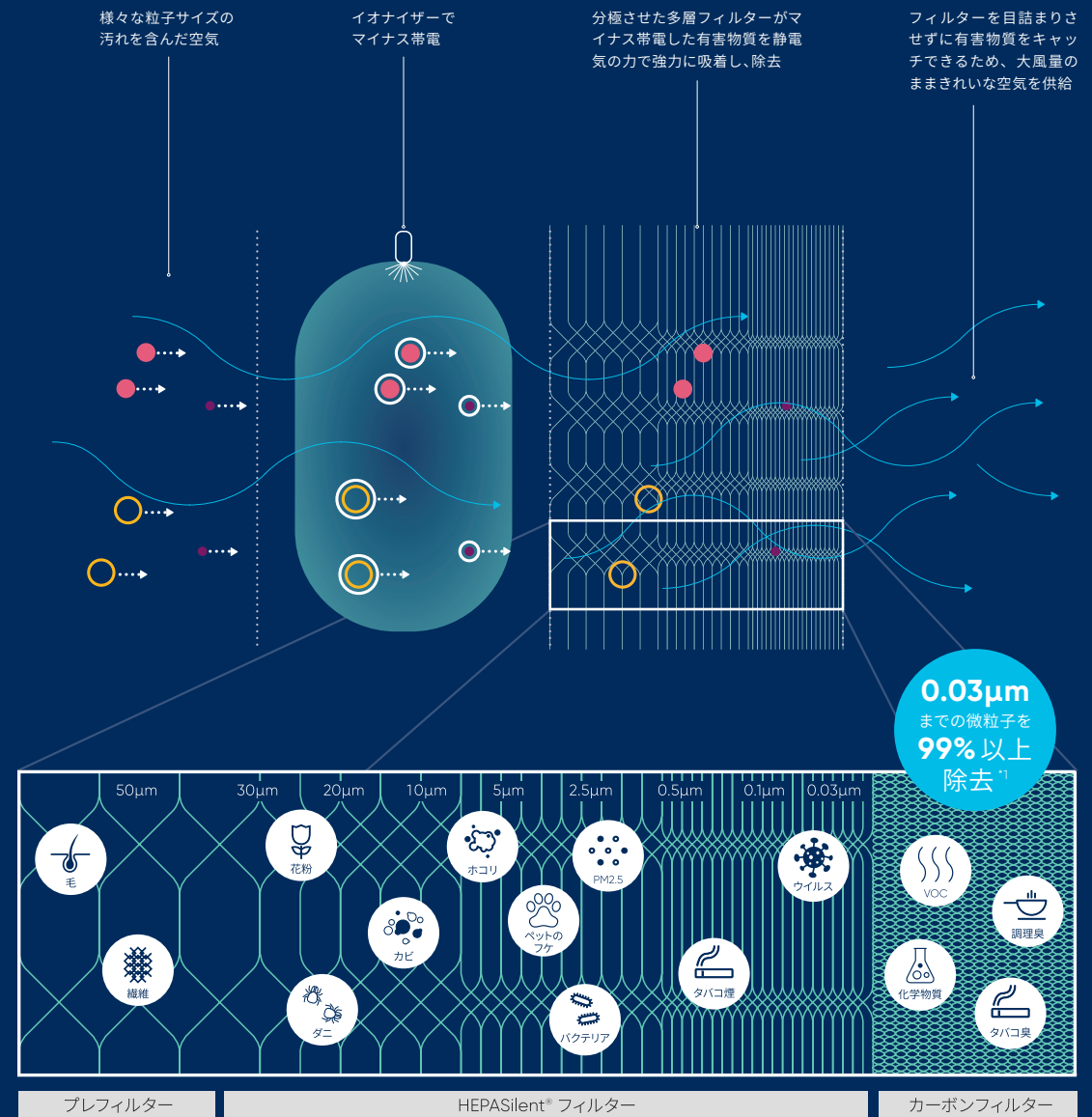
一般的な空気清浄機は、機械的なフィルターだけで、吸い込んだ空気から汚染物質を除去しますが、「HEPASilent® テクノロジー」は粒子イオン化技術と高性能フィルター技術により、より多くの汚染物質を吸着させるため、目詰まりしにくく、大量の空気をきれいにできるのです。しかもファンのパワーをそれほど必要としないため、その結果、運転音が小さく、消費電力量も抑えられます。

その「HEPASilent® テクノロジー」をさらに、発展させたのが「HEPASilent Ultra™」です。イオン化機能をファンの近くの小さなス

ペースに最適化することで、より高い効果と小型化を両立しました。この技術により、0.03µmというウイルスレベルの超微細な汚れを99%除去<sup>1)</sup>できることが実証されています。空気の流れのシステム設計を最適化することで、優れた清浄スピード(CADR、約27dB(A)と静かな運転音<sup>6)</sup>、1日24時間使っても電気代は約5円<sup>7)</sup>という省エネ性を実現しています。

空気清浄機に吸い込まれた空気は、まずプレフィルターを通過します。ホコリなどの大きな汚れはここで除去されます。続いてメイン

## HEPASilent Ultra™ テクノロジーの仕組み



フィルター(HEPASilent® フィルター)と除臭効果を持つカーボンフィルターを通過します。メインフィルターはブック型にすることで従来のフィルターに比べて1つあたりのフィルターの面積が増えます。そのため、本体がコンパクトになっても最高のパフォーマンスを出せる仕組みになっています。さらに、ブック型なので交換の際、汚れたフィルター表面を触らなくて良いところもメリットです。

Blueairは、製品を開発する際、世界中の生活者の協力の下、インサイトをいただきながらイノベーションをお届けするよう開発に取り

組んでいます。最近では大気汚染、山火事、ウイルス、アレルギーなど、さまざまな懸念に人々が関心を持っています。トレンドをマクロ、ミクロでみながらニーズを満たし、最終的には生活者の期待を上回る製品をお届けしたいと考えています。



Blueair CTO  
Daniel Johansson  
(ダニエル・ヨハンソン)



Blueair CPO  
Jonas Holst  
(ヨナス・ホルスト)

## 「Blueair Protect」は 空気清浄機の理想型

「Blueair Protect」の開発プロジェクトは、世界中のユーザーの自宅を訪問し、ニーズを分析し、インサイトを得ることから始まりました。そこから「24時間365日ウイルスや細菌から空気を守る」という開発コンセプトがうまれました。

「Blueair Protect」の構造は、本体の性能を最大限に引き出すように設計されています。コンパクトなボディの中に、パズルのように内部パーツを効率的に合理的に配置しました。

左右下部に配置したデュアルインレット(2方向からの吸引部)は、プレフィルターを介して空気を内部に引き込みます。ここでまずホコリなどの大きなゴミを取り除きます。

内部にはシロッコファンと一体型になったイオナイザーを設置。引き込んだ空気に含まれる汚染物質をマイナスに帯電させ、分極させた多層構造フィルターに吸着させます。

多層構造フィルターの外側はカーボンフィルターと一体化しており、ニオイやVOCなどの有害ガスも強力に除去します。フィルターはブック型で、サイズの異なるパーツを二つ折りにするように配置しています。これにはフィルターの面積を増やす狙いがあります。通過する空気が増え、除去できる汚染物質の量も増えるため、クリーンな空気を長期間にわたって循環できるのです。

新たな内部構造設計、空気の流れの効率化、ファンやイオナイザーなどのパーツの見直しにより従来の0.1 $\mu\text{m}$ よりもさらに微細な0.03 $\mu\text{m}$ のウイルスレベルの超微粒子の除去<sup>1)</sup>を実現しました。

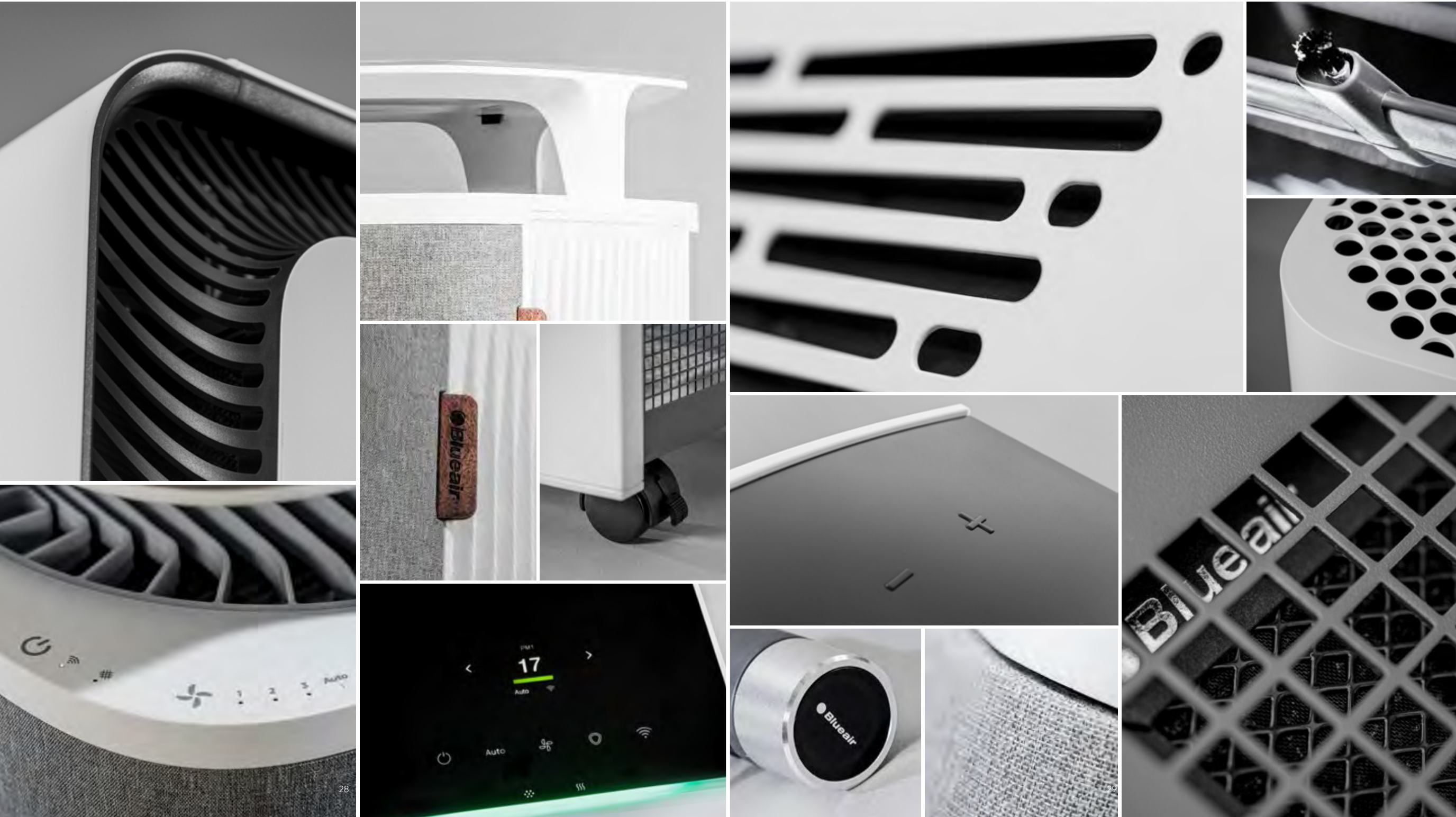
きれいになった空気を本体外に放出します。これには本体の両サイドから天面後方までぐるりと配置した供給口から、お部屋の隅々まできれいな空気を行き届ける「SpiralAir<sup>™</sup>」を採用しました。

ユーザーの使用状況を分析すると、空気清浄機は必ずしもユーザーのそばに設置されているわけではありません。そこで、全方向に向けて広範囲に放出することで、どこに置いても、部屋の隅々まできれいな空気を循環させるようにしました。

ユーザー調査によるインサイトと25年の研究から誕生した理想的な空気清浄機が「Blueair Protect」なのです。



優れたデザインは機能表現する言語





## Design

空気清浄機は、きれいな空気を作ることが最優先事項です。一方、スペックを優先するとデザインの自由度という点では限界があります。限界の中で、製品のターゲットにあわせたデザインと優れた性能を融合させることに価値があります。

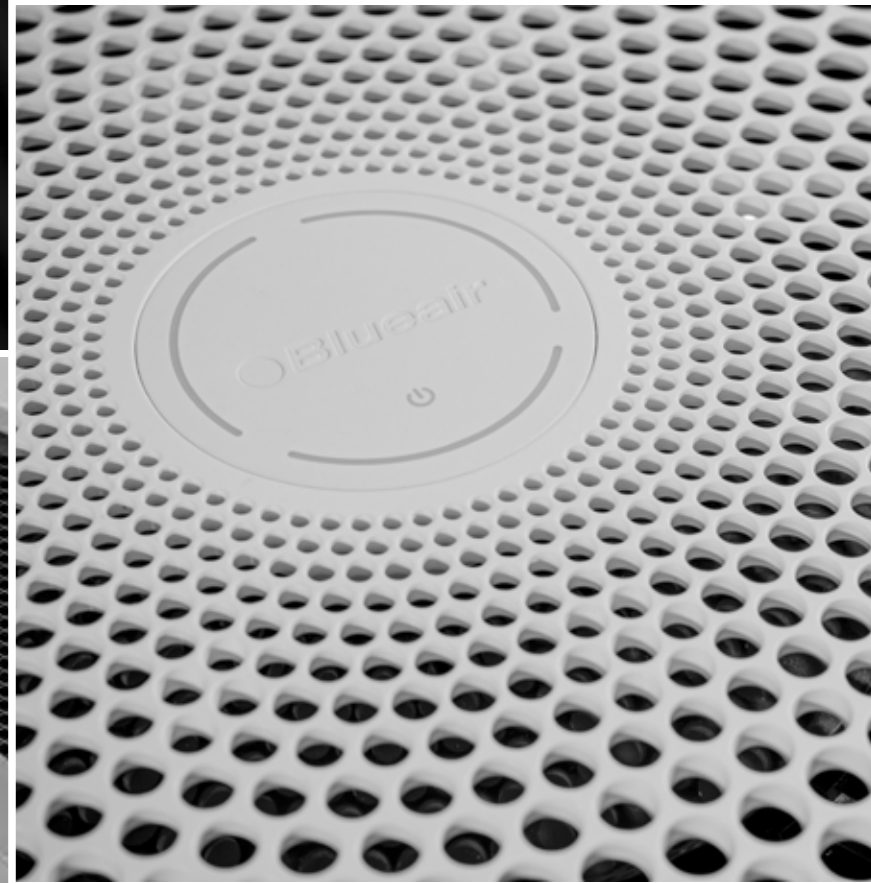
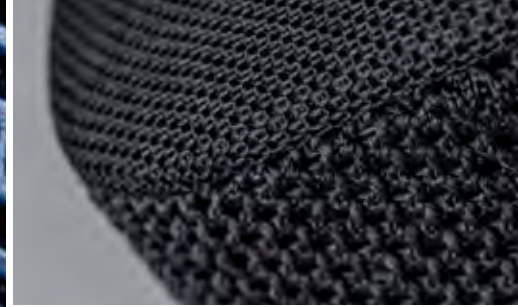
その代表的なものが「Blueair Protect」と「DustMagnet™」です。どちらも高い評価を得ているデザインエージェンシーと協力し、製品の価値提案をサポートするデザインを実現しました。

「Blueair Protect」は本体に堅牢性に優れたスチールを採用したのですが、独特な質感が不変的な印象を与えます。こうしたデザインのメリットだけでなく、スチール製のボディは自立するため部品を支えるシャーシが不要になり、軽量化と気流の効率化につながったのです。

また、「Blueair Protect」はモデルごとにインターフェイスのデザインを変えています。これはターゲットごとに知りたい情報が異なるからです。最上位機種には人間工学の観点から操作がしやすい天面に「インタラクティブタッチスクリーン」を配置するだけでなく、椅子に座った時にも見やすいよう正面に空気の汚れを示すインジケータを備えています。そしてこうしたハイテクな部分が自宅のインテリアでも浮かぬようモダンなデザインに仕上げられています。

「DustMagnet™」は家具のようなデザインを採用するとともに、サイドテーブルとしても使える機能性を加えました。テーブルと脚を追加したことで、本体上部と床から空気を吸い込み、側面から空気を送り出すことで空気の渦を作り、部屋の隅々から大きな粒子を引き寄せるといふ、革新的なエアフローも同時に実現することができました。

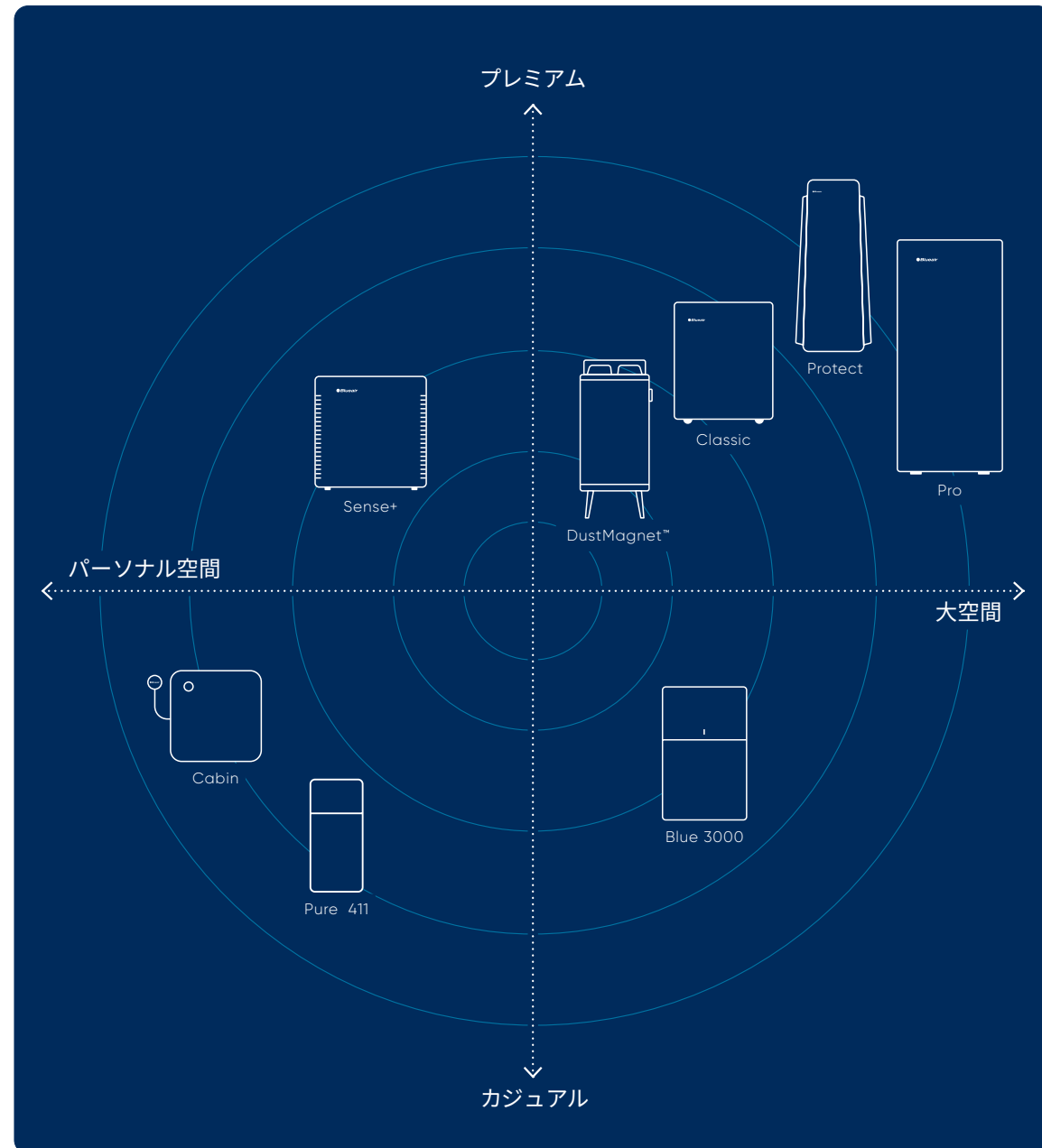
デザインは、視覚的な効果があるだけでなく主要機能を分かりやすく伝えるものでなければなりません。Blueairにとってデザインは価値提案の基本的な部分です。一見するとそれぞれのプロダクトで違う印象を受けるデザインでも、素材、カラーなど、共通項は必ずあります。タイムレスで、洗練されたスカンジナビアデザインを意識しています。



red dot winner 2021



# To Deliver Excellent Models To Everyone



## 空気清浄機専門メーカーだからこそその義務 世界中の誰にも優れた一台を用意すること

Blueairは、プロダクト開発の際、アイデア構想、コンセプト決定、デザイン、プロダクトの仕上げといった全てのステップにおいて、ターゲットとしている生活者の人たちに調査をしています。こうしたやり方は、時間もリソースもかかりますが、生活者の意見を重要視しているため欠かせません。その上で、低騒音、耐久性などプロダクトのクオリティが目標を達成しているかを常に確認しています。最終的に生活者の期待を上回るプロダクトを作り出すために必要なことです。

多くの国、マーケットで生活者の暮らしや空気清浄機の使い方を調査し、ニーズを捉え、特定の課題に絞ってプロダクトを開発してきた結果、現在のように豊富なプロダクトラインナップを揃えるメーカーとなりました。

例えば、ウイルスや菌の対策を重視し、室内環境のデータも細かく知りたいという人は、「Protect」に惹かれるでしょう。パーソナル空間の空気環境を整えたいという人には「Pure 411」、車での移動には「Cabin」、オフィスや店舗、クリニックなどには業務用の「Pro」という選択肢があります。

微細な汚れだけでなくホコリなどもしっかり捉えつつ、インテリアに溶け込む空気清浄機を求める人は「DustMagnet」や「Sense+」の佇まいは魅力的かもしれません。

広い空間をきれいにしたいというニーズは共通していても、カジュアルな雰囲気を好む人には「Blue 3000」、未来的なデザインを好む人には「Protect」、家具との調和を考える人は「Classic」や「DustMagnet」というように、ひとり一人のライフスタイルと価値観が異なれば、当然求めるプロダクトの姿も異なります。

また、スマホと連携するコネクテッド・エクスペリエンスという視点で見れば、「Protect」は本体のディスプレイで確認できるほか、さらに

細かい情報をスマホアプリ「Blueairアプリ」で確認できますし、「Cabin」は、本体では空気の質をLEDの色で示すのみですが「Blueairアプリ」を使えば、汚れの情報を詳細に確認できます。一方、「Blueairアプリ」の操作は不要という人は「Blue 3000」を選ぶことができます。

一見すると、パーソナル空間向けの「Pure 411」と大空間向けの「Protect」では全く違うもののように見えますが、タイムレスなスキャンジナビアデザインという点は同じ。どのプロダクトも、素材、カラー、コンセプトなど、どこかに共通点を感じさせる仕上がりになっています。各プロダクトファミリーのデザインと構造は、生活者の声や競合他社の分析に基づいて設定された性能とデザインの目標を達成するため、最適化されています。

見た目は異なっても、きれいな空気を実現するため、「高度な空気清浄技術」「シンプルで美しさを追求した北欧デザイン」「フィルター清掃不要で手軽なメンテナンス」というBlueairのこだわりは貫いています。高い空気清浄性能を満たすためには、一定のエアフローが必要ですが、サイズやデザインが異なるため、それぞれのラインナップで構造を見直しています。しかし、主要な電子機器やフィルター技術などはプラットフォーム間で共有し、可能な限りスケールメリットを活かしています。これは調達、コスト面、性能の担保という点においてメリットをもたらします。

Blueairの原点「人は誰でも、きれいな空気の中で暮らす権利を持っている」という考えは、豊富なプロダクトラインナップにも表われています。世界的にみても空気環境に対する意識やニーズは変化し続けていますが、生活者のインサイトに基づいたイノベーションに注力することで、今後もBlueairは空気清浄機業界の最前線に立ち続けます。

空気の悩みを解決する  
現時点での最高傑作



Blueair Protect

さまざまな空気の汚れのリスクに対しBlueairが導き出した1つの答えがフラッグシップ機「Blueair Protect」です。キーテクノロジーは「HEPASilent Ultra™」「SpiralAir™」「GermShield™」の3つ。「HEPASilent Ultra™」は、基幹技術「HEPASilent®テクノロジー」をさらに進化させたもので、0.03μmというウイルスレベルの超微粒子まで99%以上除去します。また、カーボンフィルターとプレフィルターを備え、VOCなどの有害ガスや気になるニオイの対策にも抜かりはありません。

「SpiralAir™」はあらゆる方向に向けてきれいな空気を届ける気流技術。8畳をわずか4分<sup>※</sup>できれいにするハイスピード清浄を実現します。風が1点に集中しないため、近くにいっても寒さなどを感じず快適に過ごせます。

さて、空気中の汚れを空気清浄機できれいにするということは、フィルターにこれらの汚れが付着しているということ。そこで効果を発揮するのが「GermShield™」です。センサーにより空気環境をモニタリングし、菌が繁殖しやすい状態だと判断した場合には、電源がOFFの時でも、「GermShield™」機能が、イオンの力と内部乾燥により、フィルターに吸着した菌を抑制、清潔に保ちます。

**Protect 7770i / Protect 7740i / Protect 7710i**

- ・サイズ 幅340×奥行き340×高さ855mm
- ・畳数 ~117m<sup>2</sup> (70畳) ・運転音 27-55dB (A)

**Protect 7470i / Protect 7440i / Protect 7410i**

- ・サイズ 幅300×奥行き300×高さ690mm
- ・畳数 ~67m<sup>2</sup> (40畳) ・運転音 25-45dB (A)



## 家具のようにインテリアに調和 美しいデザインと高い性能を両立



### DustMagnet™

北欧家具のようにインテリアになじむデザインと独自の気流を備えた空気清浄機が「DustMagnet™」です。

上下にある2カ所の吸引口により空気中の汚れを効率的に除去できる新テクノロジー「DustMagnet™テクノロジー」を初めて搭載したモデル。側面2カ所にある供給口は渦状の気流を生み出し、効率的に空気中の有害物質を捉えることができます。吸引口を上下2カ所に配し、床付近に溜まりやすいホコリや花粉などもしっかりキャッチ。有害物質をマイナスに帯電させ、プラスに帯電したプレフィルターで磁石のように吸い寄せて捕らえます。

気流は渦を巻くような優しい風で、ソファの側などに置いても気になりません。長めの脚があり、下からホコリなどをしっかり吸引できるので、小さなこどもがいる部屋にも最適です。空気質センサーで感知したリアルタイムの空気の状況は5段階のステータスランプで知らせるので、一目でわかります。また、空気質に合わせて運転スピードも自動で調整されるので、ユーザーは操作をする必要がありません。

サイドテーブルとしての機能を兼ね備えたデザインで、テーブルトップには小物などを置くことができます。美しさと実用性を兼ねた新しい空気清浄機です。

#### DustMagnet™ 5440i / 5410i

- ・サイズ 幅290×奥行290×高さ650mm
- ・畳数 ~56m<sup>2</sup> (34畳) ・運転音 30-50dB (A)

#### DustMagnet™ 5240i / 5210i

- ・サイズ 幅230×奥行230×高さ520mm
- ・畳数 ~30m<sup>2</sup> (18畳) ・運転音 22-45dB (A)

## ミニマルなデザインと 最新テクノロジーの融合



### Blue 3000

優れたテクノロジーを備えた空気清浄機が欲しいけれど、インテリアに合わせてコーディネートしたい。そんな思いに応えたのが「Blue 3000」です。

寝室や書斎など15畳までのパーソナルな空間にはBlue 3210、LDKなど35畳までの広い部屋にはBlue 3410、さらに広い空間に向けてBlue 3610もラインナップ。Blue 3410とBlue 3210は円柱型のデザインを採用し、Blue 3610はボックス型で、より安定感のあるデザインに仕上げました。

操作はボタン1つで直感的。スイッチを入れると360度全方向から空気を吸い込み清浄を開始します。プレフィルタが繊維や毛など大きな粒子を捉え、カーボンフィルタが料理臭や生活臭、タバコなどの日常的なニオイから、建材から発するVOCなどにも効果を発揮します。さらにポイントになるのが、Blueairのコアテクノロジーである「HEPASilent®テクノロジー」。本体内部のイオナイザーの働きで、空気中の微粒子をマイナスに帯電させ、あらかじめ分極させた多層構造のフィルタに吸着させます。優れた除去性能と、ハイスピード清浄を両立させた技術で、0.1μmまでの微粒子を99.97%除去<sup>2</sup>します。

このほか、本体に搭載したセンサーで汚れを検知するとLEDが光ってお知らせするため、リアルタイムで空気の状態を把握できます。また、空気がきれいになるとLEDの色が変わるため、清浄効果も感じられます。

北欧の大自然からインスパイアされた5色のプレフィルタがあり、季節やインテリアにあわせてコーディネートを楽しめる点も魅力です。

### Blue 3610

- ・サイズ 幅330×奥行き330×高さ522mm
- ・畳数 ~73m<sup>2</sup> (44畳) ・運転音 23-56dB (A)

### Blue 3410

- ・サイズ 幅260×奥行き260×高さ520mm
- ・畳数 ~57m<sup>2</sup> (35畳) ・運転音 23-52dB (A)

### Blue 3210

- ・サイズ 幅200×奥行き200×高さ425mm
- ・畳数 ~25m<sup>2</sup> (15畳) ・運転音 18-48dB (A)



## 確かな清浄性能とシンプルな操作性

### Blueair を象徴する定番



## Blueair Classic

創業以来、販売を続けているコアプロダクトの「Blueair Classic」。現在販売されているBlueairの空気清浄機は、「Blueair Classic」をベースに機能やパフォーマンスにおいて改良を繰り返してきました。

Blueairが開発した「HEPASilent®テクノロジー」を初めて搭載したのも「Blueair Classic」です。空気中の花粉、ハウスダスト、PM2.5、ウイルスなど、0.1µm以上の微粒子を99.97%<sup>※</sup>、ハイスピード清浄できる機能を備えています。

誰でも迷うことなく使えるシンプルな操作パネルのほか、動作音の静かさにもこだわっています。遮音性の高いスチール製のボディは、省エネ性能も高く、1日の電気代も低く抑えることができます。Wi-Fi機能によるスマート操作を兼ね備えており、専用アプリを通じた遠隔操作や空気の観測など便利な機能も充実しています。

お手入れが簡単であることも選ばれる理由の一つです。フィルターが汚れてしまうと、空気清浄機の性能は著しく低下します。Blueairなら、日常的なお手入れは不要。「Blueair Classic」は、半年に一度フィルター交換<sup>※</sup>をすれば初期性能に戻ります。

### Classic 690i / 605

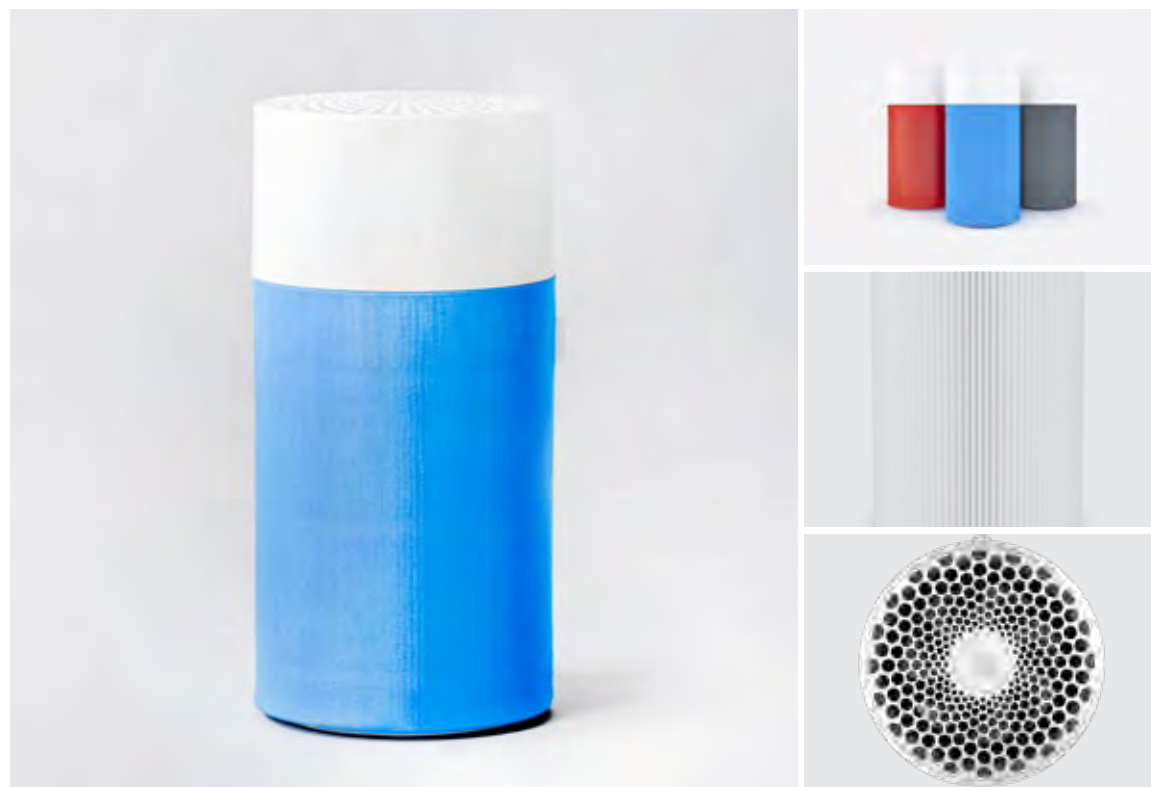
- ・サイズ 幅500×奥行340×高さ660mm
- ・畳数 ~123㎡(75畳) ・運転音 32-62 dB(A)

### Classic 490i / 405

- ・サイズ 幅500×奥行275×高さ590mm
- ・畳数 ~55㎡(33畳) ・運転音 32-52 dB(A)

### Classic 290i / 205

- ・サイズ 幅440×奥行210×高さ530mm
- ・畳数 ~41㎡(25畳) ・運転音 32-56 dB(A)



## こども部屋や寝室など パーソナル空間を快適に

### Blue Pure 411

一見すると空気清浄機とは思えないシンプルなデザインの「Blue Pure 411」です。本体は円柱形でコンパクトなため、置き場所を選びません。効率良く360度全方向から空気を吸い込み、きれいな空気を本体天面より上方へ供給。小さなボディながら清浄性能は頼もしく、花粉やPM2.5などの微粒子を99%除去<sup>10)</sup>します。

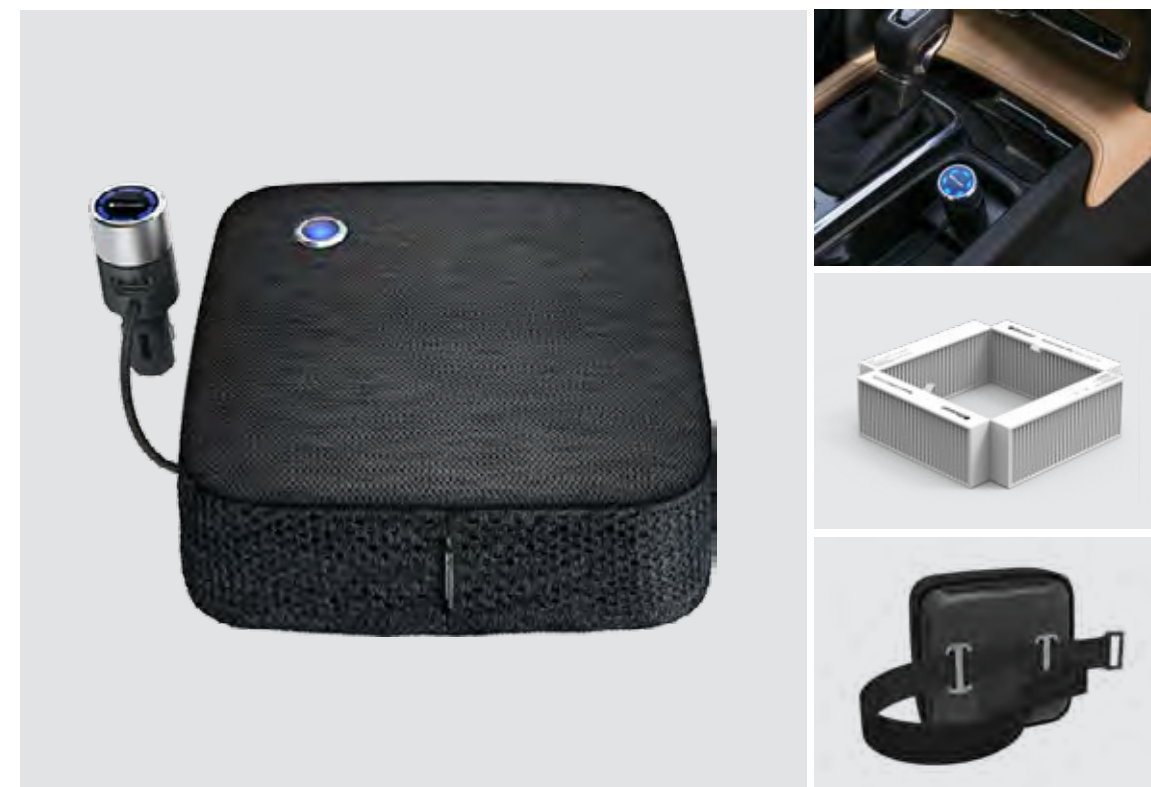
運転音は17~46dB (A)。最も運転音の静かな製品と認められた証である世界的な認定「Quiet Mark」を取得しており、空気清浄機が動いていることを忘れてしまうほどとても静かです。

Wi-Fi接続機能などを備えていないため、機能を絞った空気清浄機を求める人にぴったりです。カラフルなプレフィルターは水洗いが可能。繰り返し使えてサステナブルです。プレフィルターは3色のカラーバリエーションを用意。インテリアや気分にあわせて選ぶ

のも楽しいです。操作は天面のボタンを押すだけなので、使う人を選びません。コンパクトな形状なので、玄関やこども部屋、寝室などスペースに限りがある場所でも活躍します。きれいな空気はリラックスできるだけでなく、勉強や仕事のやる気もアップさせてくれそうです。

#### Blue Pure 411

- ・サイズ 幅200×奥行200×高さ425mm
- ・量数 ~22m<sup>2</sup> (13畳) ・運転音 17-46dB (A)



## 快適なドライブに 快適な空気環境を提供

### Blueair Cabin

室内のみならず、車という移動中の空間にもBlueairの空気清浄ソリューションを提供できるのが「Blueair Cabin」です。シンプルで主張しないデザインと本格的な機能を両立させた車載用空気清浄機が、さりげなく車内の空気環境をきれいにします。ヘッドレストのシャフト部分に付属の取付ベルトで本体を装着し、本体とケーブルで接続されたコントローラー部分をシガーソケットに挿入して使用します。

車内特有の有害物質やアレル物質を99.97%まで除去<sup>12)</sup>できるBlueair独自の「HEPASilent®テクノロジー」を搭載。マイナスに帯電させた空気中の汚染物質をあらかじめ分極させた多層フィルターで捉え、空気を清浄します。フィルターには除臭カーボンが含まれているため、気になる車内のニオイにもアプローチ。

センサーが空気の汚れ具合を感知し、LEDで知らせるため、空気

の質を素早くチェック。また、スマホ専用「Blueair アプリ」と連携すれば、より詳細な空気質のモニターや、スマホから操作も可能。エンジンがONの状態、遠隔操作で車内をクリーンにしておけば、車のドアを開けた瞬間に「こもったニオイがたちこめる」ということもなくなります。運転中に便利なオートモード付き。自動で車内の空気の汚れを感知し、ハイスピードで清浄します。快適な空気環境で、今までよりもっと快適なドライブを提供します。

#### Blueair Cabin

- ・サイズ 幅205×奥行205×高さ97mm
- ・推奨車サイズ：3~4m<sup>3</sup> (セダン / ハッチバック)
- ・運転音 36-55dB (A)



## 機能美を極めたミニマルデザイン 手をかざすだけで操作できる

### Blueair Sense+

Blueair は常に新たな価値提案を模索しながら、革新的な空気清浄機の開発に取り組んでいます。その一環として2015年に発売された(現在は終売)モデルが「Blueair Sense+」です。

すべてのボタンをなくしたミニマルデザインで、手をかざすだけで操作するモーションセンサーを搭載。立ったまま操作できる利便性に加え、光沢がある操作部に指紋がつかないで常に美しい状態を維持できます。また、専用アプリを通じて遠隔操作やスケジュール設定など、最新技術を取り入れた使いやすさを追求しています。

デザインを手掛けたのは、日本ではCKR(クラークソン・コイヴィスト・ルーネ)の愛称で知られる、モーテン・クラークソン、エーロ・コイヴィスト、ウーラ・ルーネの3人によるスウェーデン人のデザインユニットです。ボタンがなく、シンプルでスクエアなフォルムは、革新

的なデザインの空気清浄機として評価され、世界各国のデザイン賞を受賞。インテリアに合わせられる全6色のカラーバリエーション展開も、これまでホワイトを中心に発表していたBlueairにとっても新たな試みでした。さまざまなライフスタイルにあわせた空間を演出できる美しい空気清浄機。それが「Blueair Sense+」です。

#### Blueair Sense+

- ・サイズ 幅470×奥行170×高さ492
- ・畳数 ~32m<sup>2</sup>(20畳) ・運転音 32-53 dB(A)



- Pro XL / L / M**
- XL・サイズ 幅504×奥行240×高さ1120mm ・畳数 ~161m<sup>2</sup>(98畳) ・運転音 33-56dB(A)
  - L・サイズ 幅504×奥行240×高さ790mm ・畳数 ~112m<sup>2</sup>(68畳) ・運転音 33-56dB(A)
  - M・サイズ 幅504×奥行240×高さ430mm ・畳数 ~58m<sup>2</sup>(35畳) ・運転音 33-53dB(A)

## 人が集まるオフィスや店舗空間を スピード清浄する業務用空気清浄機

### Blueair Pro

「Blueair Pro」は、Blueairの中で最もスペックが高い空気清浄機で、無駄のない機能的な構造と高い性能が特徴です。

最上位モデルの「Blueair Pro XL」は、室内空気中の粒子とガスのレベルを測定する2つのスマートセンサーを備えたエアインテリジェンスモジュール(AIM)が標準装備されており、161m<sup>2</sup>という大空間まで清浄できます。

高い浄化能力を発揮しつつも音は静かで、「Blueair Pro」は稼働していることを忘れてしまうほど。ケースは遮音性の高いスチール製ボディを採用しており、大量に空気を供給していることを忘れてしまうほどの静かさを体験できます。

デザインは白を基調とした清潔感のある外観で様々な空間に調和し、遮音性の高いスチール製の滑らかな外観は、どんな環境でもシームレスに溶け込むように設計されています。設置面積はスリムで、場所もとりません。

スッキリとしたデザインと静音性<sup>1)</sup>、粒子レベルを効果的に下げられる高い性能を合わせ持った一台です。

## 空気の「きれい」度合いがわかる 空気質改善のヒントも提供する

### Blueair アプリ

Blueairの専用アプリを使えば、目に見えない空気の「きれい」の度合いがわかります。住んでいる地域全体の状況も把握できるので、汚染度に合わせて運転の制御を行うことができるのも便利です。

屋外は、PM2.5やPM10、一酸化炭素、二酸化窒素、オゾンなど世界各国の屋外の空気環境をリアルタイムでモニターし、お住まいの地域や外出先などを設定すれば気になる屋外の空気について知ることができます。室内では内蔵センサーで感知した室内のPM2.5、tVOC、温度、湿度をモニターし、空気質改善のヒントを提供しています。また、センサー内蔵モデルは、データを蓄積し、空気環境の変化をグラフで確認できます。





## Clean air for children

Blueairが誕生したきっかけ、それは創業者の「世界中の子どもたちには、きれいな空気の中で生活する権利がある」という思いでした。およそ25年前、生まれたばかりの娘を見た創業者ベン・リトリは、「私たち大人には、子どもたちを守り抜く責任がある」と強く感じたのです。私たちは1日のうち、およそ90%の時間を室内で過ごしますが、実は室内の空気は屋外の5倍も汚染されていると言われています。そこで創業者は、子どもたちのために最高の空気清浄機を作ろうと誓い、その情熱を共有するデザイナーや技術者と共に、最初の空気清浄機を誕生させました。

あれから25年経った今も、Blueairは子どもたちが最も安全に成長できる環境を整えるため、技術開発を続けています。さらに創業者の「次世代のためにきれいな空気を」という思いを受け継ぎ、子どもたちがきれいな空気を吸う権利を守るためのキャンペーン、空気清浄機の寄付、空気清浄などの技術支援などを行い、世界60カ国以上の人々の生活の向上を空気を通して貢献しています。



「世界中の子どもたちには、  
きれいな空気の中で生活する権利がある」  
という創業者の思いを受け継いできた







## 「Clean air for children」を通じて 世界中の100万人以上の子どもたちに きれいな空気を届けている



残念なことに大気汚染はいよいよ深刻化しています。今や世界の子どもたちの10人に9人は汚染された空気環境に置かれており、健康と福祉を脅かす危険な状況が続いているのです。特に幼い子どもたちは、肺や脳、免疫システムが発達していないうえ、体重に対して多くの空気を吸っているため、大人より汚染物質の影響を受けやすい状態にあります。事実、大気汚染は子どもたちの身体的、精神的、認知的な健康に影響を与えるリスクがあることが分かっている一方、きれいな空気は子どもたちの身体的な健康と認知能力を向上させ、睡眠を改善し、風邪を防ぎ、アレルギーや呼吸器系の病気を予防することも分かっています。

そこで私たちは2016年に、子どもの空気を守るプロジェクト「Clean air for children」を立ち上げました。2016年に韓国・ソウル市に50台の空気清浄機を寄贈したのを皮切りに、日本、中国、

インド、韓国、アラブ首長国連邦、イギリス、アメリカの学会や企業、政府、市民団体と協力し、世界中の100万人以上の子どもたちにきれいな空気を届けています。

この活動を通して私自身、各国を訪れることでその国の空気環境の現状や人々の意識を体感してきました。日本には2019年に訪問し、東京・渋谷の保育園に100台の空気清浄機を寄贈しています。東京の中でも渋谷は交通量が多く、もっとも汚染された地域の1つであると聞いていたため、1000人を超える子どもたちにきれいな空気を届けることができたのは、非常に印象深い出来事でした。また、イギリス・ロンドンの学校に空気清浄機を寄贈したところ、1年後に先生方から「空気清浄機のおかげで子どもたちの集中力や成績が向上した」という声をいただき、この活動を大変誇らしく感じています。



## 大気汚染、パンデミックからすべての子どもたちを守る きれいな空気を吸う権利を得るまで、 私たちは決して諦めない



Blueair CPO  
Sara Alsen  
(サラ・アルセン)

大気汚染は、人間の健康、そして地球の健康に対する唯一にして最大の脅威ですが、2020年に新たな懸念が起きました。COVID-19（新型コロナウイルス）のパンデミックによる室内の空気環境の悪化です。前述のように室内の空気は、屋外の空気の5倍汚染されていると言われています。パンデミックにより室内で過ごす時間がさらに長くなったことで、大気汚染の問題がない国や地域でも、室内の空気に浮遊するウイルスや細菌に特に気を配らなければならなくなりました。Blueairは、このパンデミックにおいても人々を支援するため、空気清浄機を施設に寄付したり、ウイルスや細菌から24時間365日家族を守る<sup>3</sup>空気清浄機「Blueair Protect」を市場に送り出しました。

いずれにしても私たちは一丸となって汚染物質の排出量を削減する必要があります。ユニセフは、2050年までに大気汚染が子どもの死亡原因の第一位になると予測していますが、その一方で、196の国と地域が加盟する「子どもの権利条約」で定められた子どもの権利の中に「きれいな空気」は含まれておらず、世界的にも正式に認められません。そこでBlueairは2021年、若者が中心となって、きれいな空気を吸う基本的な権利を認めるよう、国連に要請することを目的とした「Freedom to breathe」キャンペーンを立ち上げました。そのキャンペーンの一環として現在、北京、デリー、ロサンゼルス、ロンドンの4都市の学校において、きれいな空気を吸うことの重要性と、有害汚染源への暴露を最小限に抑える方法などを教えるプログラムを実施しています。すべての子どもたちがきれいな空気を吸う権利を得るまで、私たちは決して諦めません。

それは空気清浄機専門メーカーとして当然の行動







## きれいな空気を届けずにはいられなかった 関野竜佑くんのことを耳にして 世界で一番小さく生まれた男の子<sup>12</sup>

Blueairが日本において「Clean air for children」の活動を本格的に始動するきっかけになった出来事があります。2018年10月1日に体重わずか258gで生まれた“世界一小さな男の子”<sup>12</sup>関野竜佑くんとの出会いです。

竜佑くんの出産を担当した、最先端の小児周産期医療設備を備える長野県立こども病院でも、200g台の赤ちゃんの治療経験は少なく、困難は産後すぐに点滴の注射針を刺すことから始まりました。200g台の赤ちゃんは体が透過していて、内臓なども外から見えている状態のため、体の下から光を当てながら、複数の医師が代わる代わるチャレンジし、やっと細い血管に針を刺すことができたということです。

当時の緊迫した様子を竜佑くんの両親・関野康平さん、俊子さんも思い返します。「夜の7時過ぎに生まれたのですが点滴の針が入らず、主治医の先生から『翌朝までに入らなかったらごめんなさい』と言われていました。でも、先生方が一丸となり、ギリギリの状況にも諦めずに挑戦し続けて、竜佑の命をつないでくれました」(康平さん)。







その後、何度か厳しい状況が訪れたものの無事乗り越え、3374gまで成長した竜佑くんは、2019年4月20日に無事退院。この奇跡のニュースは日本国内のみならず世界各国で取り上げられ、即座に動いたのがBlueairのCPOサラ・アルセンです。サラは「世界一小さな男の子としてこの世に生まれた竜佑くんは、最高にきれいな空気の中で大きく育ててもらいたい」という思いに突き動かされ、関野さんご自宅と長野県立こども病院にブルーエアの空気清浄機を寄贈することを決めました。

竜佑くんが退院して3か月、長野県軽井沢町の関野さん宅では、生後9か月となった竜佑くんの体重が約4000gになっており、周囲を好奇心旺盛な表情で見渡したり、おもちゃをつかんだ

り。体重わずか258g、あんなに小さかった竜佑くんとは思えない成長ぶりの傍らには、Blueairの空気清浄機「Classic 480i」がありました。

それから2年後、3歳になった竜佑くんの体重は7kgを超え、元気に走り回るようになりました。「同年代の子と比べても、すごくよく食べるんです。好き嫌いも全くなくて、今は揚げ物や納豆に夢中です」と嬉しそうに話す関野さんご夫妻。

とはいえ、不安がなかったわけではありません。「1歳を迎えるまでは、不安な気持ちと隣り合わせで、常に覚悟していましたね。今は、とにかく無事に生きていてくれていれば、それでじゅうぶんという思いだけで、多くは望んでいません。健康が一番。竜佑が3歳にな



った今も、この軸は私たち家族の中で変わりません」(康平さん)。

そんな竜佑くん、そして家族の健康を支えるうえで、Blueairの空気清浄機の存在は大きかったと言います。「この空気清浄機を置いてから、竜佑はおかげさまで大きな病気はしていませんし、私たち夫婦もほとんど風邪を引かなくなりました。家族みんながきれいな空気の中で過ごせるというのは、大きな安心感につながっていたと思います」(俊子さん)。

また、実際の使用感についても満足しているようで、「基本的にはとても静かなんですが、ホコリが強く舞ったときには稼働音がして、しっかりと反応してくれているのがわかるんですね。軽井沢の空気はきれいとはいえ、室内ではホコリの舞い散りは避けられ

ません。しかし、Blueair空気清浄機がホコリも取り除いてくれるし、室内の空気まで爽やかに感じられます」(康平さん)。

最後に、竜佑くんが3歳になった今の心境を関野さんご夫妻にお聞きしました。「本当にたくさんの方に支えられて、助けてもらってここまで来られました。竜佑がこうして元気に育っていること、その様子を求められる限り、発信していくことが私たち家族のできる恩返しであり、使命だと思っています。本人も、そういう責任と感謝の気持ちを持って、人生を歩んでいってくれたらと思います」(康平さん)。

これからもBlueairは竜佑くん、そして世界中の子どもたちの健全やかな成長を願い、きれいな空気を届ける活動を続けていきます。





## 世界中で愛される機能とデザインを 兼ね備えた Blueair は スウェーデンの誇りです

スタッフが働く環境を快適に整えることは、仕事のパフォーマンスを高めるうえで重要な要素です。そのため私たちのオフィスでは使用するアイテムは厳選し、疲れにくいエルゴノミクスチェアや仕事の効率を高める照明、そして空気環境を整える Blueair の空気清浄機を採り入れています。私たちが Blueair を選んだのは、スウェーデンブランドというのはもちろんのこと、かつて私が駐在していた国のオフィスでも使用しており、機能性、デザイン性ともに優れていることを知っていたからです。また私たちのオフィスを訪問する日本の方々目に触れる機会を作ること、スウェーデン製品の良さを知っていただきたいという狙いもあります。

スウェーデンで優れた空気清浄機が生まれる理由として、スウェーデンの冬が非常に長く、人々が多くの時間を屋内で過ごしているという背景があります。スウェーデン人は屋内環境に対する関心が高く、特に屋内の空気を整える空気清浄に関する技術を発達させてきたのです。さらに Blueair のようにグローバルな視点を持って世界に進出

する企業が多いことも、革新的技術を推進するクラフトマンシップを生み出す原動力になっているのではないのでしょうか。

北欧製品はデザインが優れている、とよく言われますが、私はデザインとは、あくまで機能を支えるものであり、機能的なものはおのずと合理的かつ研ぎ澄まされたデザインになっていくものだと考えています。そしてクオリティが高い製品は寿命が長い傾向にありますから、Blueair は今まさに世界中で推進される SDGs のパイオニア的存在であり、スウェーデンの誇りであると感じています。



ビジネススウェーデン・スウェーデン貿易投資公団  
日本担当貿易局長  
カーステン・グロンブラッドさん

## 家具を置く感覚で空気清浄機が置ける、 それが Blueair デザインの魅力です

Blueair の空気清浄機はシリーズによってテイストが異なりますが、多くのモデルに一環しているのが空間になじむデザイン性です。フォルムはごくシンプルで、ボタンの数を最小限にしたり、使わないときは操作パネルが見えない仕様にするなど空間のノイズも少なく、どの角度から見ても美しい。まさに家具を置く感覚で置けるのが、ほかの空気清浄機にはない魅力ではないのでしょうか。例えばプレフィルターを北欧テイストの5色から選べる「Blue 3000」は、ベーシックなインテリアの差し色として取り入れるのがおすすめ。ソファのクッションやテーブルのフラワーベースの色とそろえてみたり、季節ごとにカラーを変えたり、インテリア小物で遊ぶ楽しさが味わえます。また、脚付きの「DustMagnet™」は、北欧の名作家具に通ずる意匠を感じさせ、いずれも置くだけで手軽に北欧インテリアが実現できます。

一方、「Blueair Protect」は趣向が異なり、Blueair の技術力の高さをプロダクトデザインで体現したようなモダンかつスタイリッシュなデザインが印象的。こちらは空間になじませるといより、広い空間にオブジェのように置き、そのフォルムの美しさや佇まいを楽しむといいかもしれません。機能はもちろん、デザインで選べるのも Blueair の魅力ですので、お気に入りの家具を選ぶ感覚で選んでみてください。



インテリアスタイリスト  
窪川勝哉さん



Case Study



ザ・マーケットプレイス  
フィリピン



IKEA 台北支社  
台北 / 台湾



PAÑPURI Wellness Spa  
タイ



ボルボ・カー台湾  
台湾



ザ・ウェスティン大溪リゾート 桃園  
桃園 / 台湾



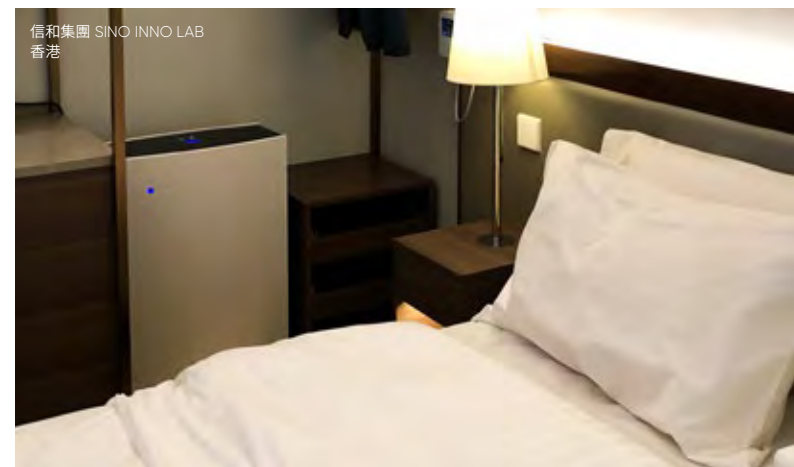
シンガポール 国際空港  
シンガポール



フェアモント北京ホテル  
北京 / 中国



シェラトン・グランデ台北  
台北 / 台湾



信和集團 SINO INNO LAB  
香港





星野リゾート リンナーレ那須  
栃木県那須郡

## 空港、ホテル、レストラン、病院、学校など 世界各国の「きれいな空気」にこだわる場所は ブルーエアを選んでいる

米国環境保護庁によると、室内の空気は外気の何倍も汚れているといわれています。PM2.5やウイルスなど、ますます深刻化しているさまざまな脅威から守るために、人が集まる場所で空気清浄機が求められています。特に多くの人が集まるようなオープンスペースや広い場所では、確実にスピーディに空気を清浄できなければなりません。Blueairは、HEPASilent®テクノロジーで高い除去性能とハイスピード清浄の両立を実現。空気清浄機の性能を示す世界基準「CADR (クリーンエア供給率)」で高レベルの値を獲得している、高性能な空気清浄機です。

また、遮音性が高く、堅牢で壊れにくく、過酷な環境でも耐えられるボディも公共の場に適しています。

例えば、人々が行き交い、多数の人が訪れる空港。シンガポール国際空港ではフラッグシップモデルの「Blueair Protect」などを中心に100台以上が導入されました。各国の一流ホテルでも使われており、シェラトン・グランデ台北(台湾)、ザ・ウェスティン大溪リゾート(台湾)、Mホテルシンガポール(シンガポール)、PAÑPURI Wellness Spa (タイ)などに設置されています。

国内では、立教女学院小学校や渋谷教育学園渋谷幼稚園といった教育現場、星野リゾートリゾナーレ那須やロジワールリビングスイーツ瀬良垣といったリゾート地、長野県立こども病院などの医療施設、多くの企業にも設置されています。

Blueairは世界60カ国以上で愛されています。個人宅から公共の場まで、広さと設置環境に応じて幅広いラインナップを揃えていることも支持されているBlueair。世界各地のさまざまな場所に「きれいな空気」を今も届け続けています。



長野県立こども病院  
長野県安曇野市



渋谷区の保育園・幼保一元化施設に  
ブルーエア空気清浄機を100台寄贈



立教女学院小学校  
東京都杉並区



## Disclaimers

- \*1 【試験機関】暮らしの科学研究所(株) 【試験方法】30m<sup>3</sup>試験空間にてBlueair Protect 7770iを運転させ、SMPSにより粒子濃度の測定実施 【試験粒子】塩化カリウム(5w%水溶液) 【試験機運転条件】Blueair Protect 7770iを「スピード3」で運転 【試験結果】約15分で30~100nmの超微粒子を99%以上除去\*周囲環境(湿度・温度)運転時間、フィルターの使用期間、劣化状況により異なります。
- \*2 【試験機関】RISE Research Institute of Sweden AB (ポロース、スウェーデン) 【試験方法】欧州フィルター規格 EN 1822-5:2009に基づくフィルター粒子捕集率試験 【試験粒子】塩化カリウム 【試験結果】0.1~1μmまでの微粒子を99.97%以上除去\*フィルターの除去性能です。部屋全体への除去性能とは異なります。
- \*3 【試験機関】(一財)北里環境科学センター 【試験方法】試験室(25m<sup>3</sup>)においてウイルスを浮遊させ空気中のウイルス数を測定 【対象】浮遊したウイルス 【試験1】抑制の方法: Blueair Protect 7770i を「スピード3」で運転 【試験結果】15分で99.93%抑制(北生発2020\_0871号)(試験は1種類のみウイルスで実施) 【試験2】抑制の方法: Blueair Classic 690i を「スピード3」で運転 【試験結果】15分で99.5%抑制(北生発2020\_0874号)(試験は1種類のみウイルスで実施) 密閉した試験空間での効果であり、実使用空間での実証結果です。
- \*4 【試験機関】Intertek Testing Services Shenzhen Ltd. Guangzhou Branch 【試験方法】試験室(28.4m<sup>3</sup>)において花粉粒子を浮遊させ空気中の花粉粒子数を測定 【抑制の方法】Blueair Protect 7770i を「スピード3」で運転 対象: 浮遊した花粉粒子 【試験結果】10分で99.55%抑制(200828112GZU-001) 密閉した試験空間での効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。
- \*5 【試験機関】(株)環境管理センター 【試験方法】1m<sup>3</sup>の試験空間において循環試験を実施 【臭気成分】糞便臭を想定した硫化水素、ペット臭を想定したイソ吉草酸、タバコ臭 試験機運転条件: Blueair Classic 690iを「スピード1」で運転 【試験結果】<介護環境臭>デュアルプロテクションフィルターを使用した場合は5分で99%以上除去。ダストフィルターを使用した場合も30分で約99%除去。<疑似ペット臭>デュアルプロテクションフィルターを使用した場合は5分で99%以上除去。ダストフィルターを使用した場合も30分で約99%除去。<タバコ臭>デュアルプロテクションフィルターを使用した場合は5分で99%以上除去。ダストフィルターを使用した場合も30分で約95%除去。\*脱臭効果は周囲環境(湿度・湿度)、運転時間、フィルターの使用期間、劣化状況、臭気によって異なる。 密閉した試験空間での効果であり、実使用空間での実証結果ではありません。
- \*6 Blueair Protect 7770i「スピード1」運転時、27dB(A)。
- \*7 単位電気代27kw/hで計算。実際の使用方法や環境によって異なる。
- \*8 日本電機工業会JEM1467規格に基づき算出(Blueair 7770i「スピード3」運転時)
- \*9 24時間使用の場合の目安
- \*10 Blueair社による実証データ。実際の効果は部屋の状況や使用方法により異なる。
- \*11 Blueair Pro「スピード1」運転時、33dB(A)。
- \*12 2018年10月1日当時

## Credit

Texts by Chizuru Imori, Kazumi Ishii, Makiko Tanaka

Photographed by Eigo Shimajo (GREEN HOUSE)

Designed by Motoyuki Ichinose (LOSMARM)

Styling by Katsuya Kubokawa

Edited by Masaki Takita (Beyond magazine)

Printing by Spreem Inc.

Produced by

Kanako Arai, Nanae Katayanagi, Akiko Kogiso, Yukiko Ito  
(Sales On Demand Corporation)



<https://blueair.jp>